

教 生 学 第 3 3 9 号
令和元年（2019年）7月2日

各 教 育 局 長
各 道 立 学 校 長 様
各市町村教育委員会教育長
（各市町村立学校長）

北海道教育庁教育部長 平 野 正 明

令和元年夏の交通安全運動の実施について（通知）

このことについて、道、道教育委員会、道警察ほか関係機関の連携の下、道民一人一人の交通安全意識の高揚を図るため、別添の実施要綱に基づき、7月11日（木）から7月20日（土）までの10日間、夏の交通安全運動を展開し、飲酒運転の根絶、子供と高齢者の交通事故防止、スピードダウンと居眠り運転の防止等を重点とした取組を推進することとしています。

また、7月13日（土）は、「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」（平成27年北海道条例第53号）に定める「飲酒運転根絶の日」であり、道及び道民が一体となって、飲酒運転を根絶するためのイベント等が実施される予定です。

つきましては、これらの運動等の趣旨を踏まえ、次により児童生徒の交通安全教育を推進するとともに、所属職員への指導の徹底をお願いします。

記

- 1 各学校において、児童生徒の発達の段階に応じた交通安全教育を実施すること。
- 2 所属職員が、交通法規を遵守し、安全運転に徹するよう、指導すること。
- 3 飲酒運転は絶対に行わないよう、所属職員への指導を徹底すること。
- 4 飲酒運転防止に関し、道教委では、一昨年度から別添写しのとおり北海道PTA連合会に依頼しているので、各学校においても、PTAとの連携を図るなどして、地域における交通事故の防止や飲酒運転の根絶に向けた積極的な取組を展開すること。

（学校教育局生徒指導・学校安全課生徒指導・学校安全グループ）
（総務政策局教育政策課政策企画グループ）
（学校教育局高校教育課高校教育指導グループ）
（学校教育局義務教育課義務教育グループ）
（学校教育局特別支援教育課学校教育指導グループ）
（学校教育局健康・体育課学校保健・体育グループ）
（生涯学習推進局生涯学習課社会教育・読書推進グループ）
（教職員局教職員課サービス管理グループ）

令和元年 夏の交通安全運動北海道実施要綱

第1 運動の目的

交通安全を自らのことと捉え、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、道民一人一人の交通安全意識の高揚を図る。

第2 期間

1 運動期間

7月11日（木）～7月20日（土）までの10日間

2 統一行動日（セーフティコール）

7月11日（木）

3 飲酒運転根絶の日

7月13日（土）

第3 主催

北海道、北海道教育委員会、北海道警察、札幌市、市町村、公益社団法人北海道交通安全推進委員会、一般財団法人北海道交通安全協会、一般社団法人北海道安全運転管理者協会

第4 運動の重点

1 飲酒運転の根絶

2 子供と高齢者の交通事故防止

3 スピードダウンと居眠り運転の防止

第5 運動の進め方

道、道教委、道警察、市町村をはじめ、関係機関・団体等は緊密に連携し、体系的かつ効果的な交通安全運動を展開するとともに、参加・体験・実践型の交通安全教育を積極的に推進する。

第6 主な推進事項

運動の推進に当たっては、次により運転者及び歩行者のそれぞれの立場から交通安全を実践するとともに、家庭、学校、職場では、交通の場における正しい行動が習慣化されるよう話し合いや指導を行い、各地域では地域のふれあいを通じて、地域に根ざした交通安全活動が行われるように努めましょう。

1 飲酒運転の根絶

○ 運転者の皆さんは

飲酒運転は悪質で重大な犯罪であるとの認識を持ち、二日酔い運転を含め、飲酒運転は絶対にやめましょう。

○ 同乗者の皆さんは

運転者の飲酒状況を確認、二日酔い状態も含めて、酒気を帯びている人には、絶対に運転をさせないようにしましょう。(同乗罪に問われる場合があります。)

○ 家庭では

飲酒運転は悪質な重大犯罪であること、悲惨な事故やひき逃げを起こしてしまう危険な行為であることなどを、家族で繰り返し話し合うなど、飲酒運転を根絶しましょう。

○ 職場・学校では

定期的に安全教育や指導などを行い、飲酒運転根絶の意識を浸透させましょう。

ポスター（飲酒運転根絶ロゴマーク使用）等の掲示や、ハンドルキーパー運動を推進するなど、継続的に安全啓発や注意喚起を実践しましょう。

飲酒場所に車で行かないことや、飲酒後の帰宅手段の確認など、飲酒運転をさせないため、お互いに注意喚起のひと声をかけましょう。

【ハンドルキーパー運動】

自動車仲間と飲食店などへ行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が仲間を自宅まで送り届ける運動です。

○ 酒類を提供・販売する飲食・販売店の皆さんは

飲酒運転の悪質・危険性や交通事故の悲惨さを呼びかけ、ハンドルキーパー運動を推進し、飲酒運転を根絶しましょう。

飲酒運転をしようとしている者を制止し、タクシーや運転代行の利用を促すなどして、飲酒運転を根絶しましょう。

○ タクシー・運転代行業者の皆さんは

酒類を提供する飲食店や酒類販売店等と協力して、タクシーや運転代行の利用を働きかけ、飲酒運転を根絶しましょう。

○ 地域・町内では

街頭啓発や町内会の会合、回覧板など、あらゆる機会を通じて、飲酒運転の根絶を呼びかけましょう。

○ 道民の皆さんは

「飲酒運転をしない、させない、許さない」を徹底しましょう。

飲酒運転をしている者や、その疑いのある者を発見した場合は、警察に通報しましょう。

【飲酒運転通報システム】

北海道警察では、110番通報のほか、飲酒運転に関する情報提供を電子メールにより受け付ける「飲酒運転ゼロボックス」をホームページ上に開設しています。

2 子供と高齢者の交通事故防止

○ 運転者の皆さんは

子供の飛び出しや、高齢者の道路横断にも対応できる安全な速度で運転しましょう。
体調に不安があるときは運転を控えるなど、無理のない運転を心がけましょう。

○ **高齢者の皆さんは**

横断歩道や信号機のある交差点が近くにあるときは、その横断歩道や交差点で横断しましょう。

横断する前、横断中も、左右の安全をよく確認して車に注意しましょう。

交通安全講習会などに参加し、交通ルールや身体機能の変化などを理解しましょう。

○ **家庭では**

家族が外出するときは、「交通事故に気をつけて」のひと声をかけましょう。

運転に不安をもつ家族がいる場合は、免許の自主返納についても話し合しましょう。

○ **学校では**

基本的な交通ルールのほか、「ながらスマホ」などの危険性を理解させましょう。

○ **地域・町内では**

街頭啓発や広報活動を通じて、交通ルールの遵守や交通事故防止を呼びかけましょう。

3 スピードダウンと居眠り運転の防止

○ **運転者の皆さんは**

時間にゆとりをもち、スピードダウンで安全運転をしましょう。

思いやりとゆずり合いの気持ちを持って、安全運転を心掛け、あおり運転など危険な運転はやめましょう。

長距離・長時間の無理な運転にならないよう、2時間毎に1回以上の休憩をとるようにしましょう。

○ **同乗者の皆さんは**

運転者に対して、スピードの出し過ぎや、あおり運転などをしないよう声かけ、安全運転を実践させましょう。

○ **家庭では**

スピードの出し過ぎによる交通事故の悲惨さを話し合い、家族ぐるみで安全運転に努めましょう。

運転中に眠気を感じたら、安全な場所で短時間の仮眠をとるなど、無理な運転は絶対にしないよう、家族で注意しましょう。

○ **職場では**

スピードダウンと環境に配慮したエコドライブ運動を展開するなどして、安全運転に努めましょう。

○ **地域・町内では**

街頭での啓発活動や町内会の会合、回覧板など様々な機会を通して、スピードダウンや居眠り運転の防止を呼びかけましょう。



教 生 第 300 号
平成 29 年 6 月 6 日

北海道 P T A 連合会長 様

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課長

北海道飲酒運転の根絶に関する条例及び基本方針について（依頼）

北海道の生涯学習・社会教育の推進につきましては、日頃から、特段の御理解と御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、道では「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」（平成 27 年北海道条例第 53 号）第 11 条第 1 項に基づき、「北海道飲酒運転の根絶に関する基本方針」（平成 28 年 6 月）を策定し、様々な取組を実施しているところですが、一般道民による飲酒運転に起因する交通死亡事故が増加している状況です。

道教委生涯学習課としましては、悲惨な交通事故等から子どもたちを守るため、北海道 P T A 連合会をはじめとする社会教育団体と連携し、一体となって交通事故や飲酒運転の根絶を目指してまいりたいと考えておりますので、貴機関におかれましては、保護者を対象とした各種研修会等において、交通事故の防止や飲酒運転の根絶に向けた啓発等に御協力いただきますようお願い申し上げます。

社会教育・読書推進グループ

主幹 松井 晃之

電話 011-231-4111（内線 35-504）

令和元年

夏の交通安全運動



「平成30年度 JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」

金賞(HBC北海道放送賞)

北斗市立 大野小学校(入賞当時5年生) 山中 心愛さんの作品

運動の
重点

- 飲酒運転の根絶
- 子供と高齢者の交通事故防止
- スピードダウンと居眠り運転の防止

統一行動日(セーフティコール)
飲酒運転根絶の日

7月11日(木)
7月13日(土)

〔主催〕 北海道、北海道教育委員会、北海道警察、札幌市、市町村、公益社団法人北海道交通安全推進委員会、一般財団法人北海道交通安全協会、一般社団法人北海道安全運転管理者協会

〔協力〕 農業協同組合、全国共済農業協同組合連合会北海道本部

令和元年

夏の交通安全運動

7月11日(木)～7月20日(土)



「平成30年度 JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」

金賞(HBC北海道放送賞)

北斗市立 大野小学校(入賞当時5年生) 山中 心愛さんの作品

運動の
重点

- 飲酒運転の根絶
- 子供と高齢者の交通事故防止
- スピードダウンと居眠り運転の防止

統一行動日(セーフティコール)
飲酒運転根絶の日

7月11日(木)
7月13日(土)

【主催】 北海道、北海道教育委員会、北海道警察、札幌市、市町村、公益社団法人北海道交通安全推進委員会、一般財団法人北海道交通安全協会、一般社団法人北海道安全運転管理者協会

【協力】 農業協同組合、全国共済農業協同組合連合会北海道本部

年間
スローガン

ストップ・ザ・交通事故

～めざせ 安全で安心な北海道～

7月11日(木)は、統一行動日(セーフティコール)

道内全域を対象とした地域ぐるみの一斉街頭啓発を実施します。

7月13日(土)は、飲酒運転根絶の日

飲酒運転の根絶に関する理解・関心を深め、北海道全体で飲酒運転を根絶するための取組を実施します。

飲酒運転根絶ロゴマーク



夏の交通安全運動の重点

飲酒運転の根絶

- 飲酒運転は、悪質で重大な犯罪であるとの認識を持ち、二日酔い運転を含め、飲酒運転は絶対にやめましょう。
- 7月13日は「飲酒運転根絶の日」であり、「飲酒運転をしない、させない、許さない」という意識を道民一人一人が強く持ちましょう。



【ハンドルキーパー運動を推進しましょう!】

自動車で仲間と飲食店などへ行く場合に、お酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が仲間を自宅まで送り届ける運動です。



子供と高齢者の交通事故防止

- 子供の飛び出しや、高齢者の道路横断にも対応できる安全な速度で運転しましょう。
- 横断歩道や信号機のある交差点が近くにあるときは、その横断歩道や交差点で横断しましょう。



スピードダウンと居眠り運転の防止

- 思いやりとゆずり合いの気持ちを持って、安全運転を心掛け、あおり運転など危険な運転はやめましょう。
- 長距離・長時間の無理な運転にならないよう、2時間毎に1回以上の休憩をとるようにしましょう。



飲酒運転・・・発見したら警察に

通報!

「今まさに、飲酒運転をしよう!している!」という情報は、110番通報又は最寄りの警察署への連絡をお願いします。





飲酒運転根絶ロゴマーク

7.13 飲酒運転根絶の日
飲酒運転をしない、させない、許さない



令和スタート!!
いまこそだべさ。

©やべーべや

飲んだら
乗るんでない。



飲酒運転
やべーべや

飲酒運転・・・発見したら警察に通報!

交通安全対策七者連絡会議は飲酒運転根絶に向け全力で取り組みます。

北海道・北海道教育委員会・北海道警察・札幌市・公益社団法人北海道交通安全推進委員会・一般財団法人北海道交通安全協会・一般社団法人北海道安全運転管理者協会

公益社団法人 北海道交通安全推進委員会

飲酒運転は **こんだけ** やべーべや

©やべーべや



酒酔い運転の罰則

運転者	車両の提供者	酒類の提供者	車両の同乗者
5年以下の懲役 または 100万円以下の罰金	5年以下の懲役 または 100万円以下の罰金	3年以下の懲役 または 50万円以下の罰金	3年以下の懲役 または 50万円以下の罰金

酒気帯び運転の罰則

運転者	車両の提供者	酒類の提供者	車両の同乗者
3年以下の懲役 または 50万円以下の罰金	3年以下の懲役 または 50万円以下の罰金	2年以下の懲役 または 30万円以下の罰金	2年以下の懲役 または 30万円以下の罰金

さらに厳罰!!

飲酒運転をして人を死傷させた場合には、さらに重い罰則を受ける可能性があります!

≪ **三日酔い運転を防止するために! 覚えて欲しいべき!** ≫

アルコールの1単位 = 純アルコール20gを含む酒量

ビール 500ml 1単位 アルコール度 5%	日本酒 180ml (1合) 1単位 アルコール度 15%	ウイスキー 60ml (ダブル1杯) 1単位 アルコール度 43%	ワイン 200ml (小グラス2杯) 1単位 アルコール度 12%	チューハイ 350ml 1単位 アルコール度 7%	焼酎 100ml (コップ半分) 1単位 アルコール度 25%
---	---	---	---	---	---

●ここにあげたのは、純アルコール約20グラムを含む酒類です。これを「アルコールの1単位」と呼びます。焼酎やウイスキーなどアルコール濃度が高いものほど、量が少ないことがわかるでしょう。

アルコールの処理にかかる時間

1単位のアルコールを飲むと、体内での処理に飲み終わってからおよそ4時間かかります。飲酒して8時間後に勤務したとします。
2単位ならアルコールは検出されませんが、3単位だと……? 検出されることとなります。飲酒運転を防ぐためにも、健康のためにも、大事なものは、飲みすぎないこと。
3単位以上飲むのはやめましょう。

なお、アルコールの分解にかかる時間は、睡眠中は遅くなり、性別・年齢・体重・体質、体調等でも変わります。

(資料出所: 一般社団法人 日本損害保険協会「飲酒運転防止マニュアル」)

